

いびがわマラソン情報！

大会は11月8日(日)
いよいよ秋本番ですね

秋風も心地よく、いよいよマラソンシーズン到来です。

大会まであとわずかとなり、週末は、コースを試走するランナーが大勢いらしゃいます。現在、大会のサブ種目「いびがわウォーキング」の受付を行っています。

お早めにお申込みください。

詳しくは、いびがわマラソン公式ホームページ

<http://www.ibigawa-marathon.jp/> をご覧ください。

ウォーキングのTシャツが
今年はグリーンで、大人気



みんなでカタリバ！



いびがわマラソンの魅力の一つに、応援があります。

今年の新企画として、ランナーと応援する人、ボランティアの皆さんをつなぐ「みんなでカタリバ」が誕生しました。

いびがわマラソンのホームページに、誰もがメッセージを掲載できるので、それぞれの想いを伝えてもらえると、大会当日だけでなく、どんどん盛り上がっていくのではないのでしょうか？ ランナーに向けて応援メッセージやランナーの意気込み、ボランティアの係りの紹介など、どんどん発信されるといいですね。

【メッセージの例】

「スイーツエイドのボランティアで参加します。揖斐の名物をいっぱい用意しているので楽しみにしてください」

「北海道から参加します、美しい自然と子どもたちとのハイタッチを楽しみにしています、応援お願いします」

大会にご尽力いただいた故則武先生に感謝状を

いびがわマラソンでは、2008大会より、ドクターランナーの方に参加してもらい、ランナーと一緒に走りながら、一番近い場所で医療サポートをしています。

この度、その中心的人物である、一宮医師会の則武克彦先生が、鳥取県米子市であったトライアスロンの大会で、意識不明になり亡くなりました。

則武先生は、ドクターランナーとして参加するだけでなく、2010大会からは、一宮医師会の皆さんにいびがわを支えていこうと声をかけてくださり、ドクターランナーの輪を広げ、今年も40人近い方に参加いただく予定でした。

この度、大会長が、則武先生のご自宅にうかがい、妻の美穂さんと長女の由規乃さんに感謝状と写真が入った楯を贈呈しました。

いびがわマラソンの救護体制の充実に、ご尽力いただきました則武克彦先生にあらためて感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

